



## 緑風会 宮本 正一 議員

- 1 次期行財政経営計画策定にあたって
- 2 消防体制の充実・強化について

**質問1(1)** 市民からの意見受付数と回答状況は。

**答弁1(1)** 合計237件のご意見をいただき、回答は市のホームページに掲載している。

**質問1(2)** 現状認識と取り組むべき重要課題は。

**答弁1(2)** 防災施策の充実を図る必要性があり、産業空洞化、社会保障費の増加等も懸念している。財政状況が厳しい中であるが、将来の目標を設定し第3期行財政経営計画の中で方向性を示していく。

**質問1(3)** 財政健全化の取り組みについて。

**答弁1(3)** 今年度中に「行財政改革大綱」を策定し、

行財政改革の取り組みを更に強化する。

**質問2(1)** 消防車の平均到着時間と実績は。

**答弁2(1)** 平成20年度が73件で10分、平成21年度が73件で10.3分、平成22年度が72件で10.5分。

**質問2(2)** 消防力の課題と効率配置について。

**答弁2(2)** 人員、施設、推理が課題。国の消防力指針に基づき人員体制を確保していきたい。出勤区域、管轄エリアに変更の必要性が生じた場合は、柔軟かつ迅速に対応する。

**質問2(3)** 消防団活動の現状課題と市の対応は。

**答弁2(3)** 条例定数455名に対し9名欠員している。年間行事の見直しや処遇改善を行うとともに、避難誘導時の安全確保のため、ライフジャケット等、安全装備の増強を図る計画である。



## 公明党 藤浪 清司 議員

- 1 予防接種の取り組みについて
- 2 適正な資産管理について
- 3 市職員の勤務時間管理について

**質問1(1)** 現在、公費助成により予防接種が行なわれている「子宮頸がん」・「ヒブ」・「小児用肺炎球菌」の3ワクチンについて、来年度以降もこの事業を継続すべきである。今後の方針について尋ねる。

**答弁1(1)** 接種率も高く、市民の関心を集めている重要な事業であり、本年度の対象者との格差が生じることから平成24年度以降についても事業継続に向けて検討している。

**質問1(2)** 肺炎球菌ワクチンは一回の接種で5年以上有効とされ、安全性も高い。高齢者の肺炎球菌ワク

チン接種の公費助成と啓発を行なうべきである。

**答弁1(2)** 平成24年度からの開始について、公費負担額や対象年齢も考慮しながら検討したい。

**質問2** 公用車は、集中管理台数を増やし稼働率を上げることで、更に削減すべきである。それによる駐車場の適正管理についても尋ねる。

**答弁2** 公用車の削減を進めていく中で、駐車場についても見直しを図り、適正管理に努めていきたい。

**質問3** 厳しい経済状況にあり、職員の健康管理上も時間外勤務を抑えるべきであるが、対応を尋ねる。

**答弁3** 時間外勤務を削減するという目標を全庁的に共有し、全庁で取り組むことが重要である。事務の効率化を図り行政コストを削減するという側面からも取り組みたい。



## すずか倶楽部 鈴木 純 議員

- 1 津波防災体制について
  - (1) 一時避難施設の普及推進について
  - (2) 消防力の強化について
- 2 観光振興について
  - (1) 観光振興による地域活性化
  - (2) 観光振興基本計画の進捗状況と今後の取組みについて

**質問1(1)** 津波避難ビルの推進で明らかに近隣の市に遅れをとっているが、どのように増やしていくか。

**答弁1(1)** 年内に「白子サンズ」、「ロワレ21」様などと協定締結を予定しており、あらたな民間5施設と学校など公共11施設を含め概ね20,000人の避難を可能とする。今後も避難所の確保に努めていく。

**質問1(2)** 3連動地震で南消防署(白子)、東分署(中

箕田)が浸水域に入るとの想定のもとで、郡山分署新設を急ぐ必要があると思うが計画はどうか。

**答弁1(2)** 厳しい財政事情の中で、計画の具現化に向けて協議と調整に努めている。

**質問2(1)** 鈴鹿市の活力ある街づくりや経済効果をねらって観光産業の発展に努力すべきではないか。

**答弁2(1)** 経済、雇用、まちづくり等地域の活性化を進める上で重要であり観光協会、商議所と連携して官民一体で観光振興を推進していきたい。

**質問2(2)** 「観光振興基本計画」の実現を期待するが観光まちづくり委員会の役割は。観光集客施設に頼るばかりでなく、市独自の施策も必要ではないか。

**答弁2(2)** 委員会は関係機関・団体と連携を図り基本計画実現に向け、具体的な事業に取り組んでいきたい。